



新成人へメッセージ

常に**感謝**の気持ちを
まちづくりに積極的に**参加**を
何事にも積極的に**挑戦**し、高い志を

式辞を述べる
瀧口季彦 市長

成人になられた皆さん、本日は誠に
おめでとうございます。
皆さんの人生の大切な節目を、共に
喜び祝福することができて大変うれ
しく思っています。私から特に3点お
願いたいと思います。
まず、感謝の気持ちを常に抱いてく
ださい。学校の先生、クラスメイト、地
域の方々、何よりご家族の大きな愛情
に包まれてきたと思います。成人式は
皆さんにとって特別な日でもあります
が、ご家族にとっても特別な日。恥ずか
しがりや、しっかりと感謝の気持ちを
伝えてください。これからの人生、多く
の人に出会おうと思いますが、常に感謝
の気持ちを持って接してください。
次に、まちづくりに積極的に参加し
てほしいと思います。何をやればいいのか
わからないという方もいるかもしれ
ませんが大丈夫です。すぐにできま
す。地域行事に参加したりお手伝いし
たりするなど、できることから始めれ
ばいいのです。庄原市を今以上に住み
よい心豊かなまちにするために、一緒



真剣に耳を傾ける新成人

に頑張りましょう。
最後に、何事にも積極的に挑戦し、
志を高く持つてください。皆さんには
無限の可能性があります。多くの人に
出会い、さまざまなこと学び、視野を
広げ、自らを磨いてください。時には失
敗することもあるかもしれません。完
壁な人間なんて存在しません。どん
な人でも夢をかなえるまでには失敗を
繰り返す、そのたびに立ち上がっている
のです。最終的に夢をつかめば失敗は
成功までの過程に過ぎません。目標に
向かい突き進んでいただきたいと思
います。



新成人を代表し謝辞を述べる角さん



瀧口市長から記念品を受け取る
金山さん

363人が大人の仲間入り

庄原市を担う新成人を祝う

～平成24年度庄原市成人式～

ハタチ。20歳になった瞬間から大人の仲間入り。誰もが経験する人生の節目です。
これを祝う式典が8月15日、庄原市民会館で行われ、出席した新成人たちは懐かしい顔との再会に歓声を
上げ、笑顔があふれていました。
今日は、庄原の未来を担う若者に、成人になった今の気持ち、将来の夢などを聞きました。



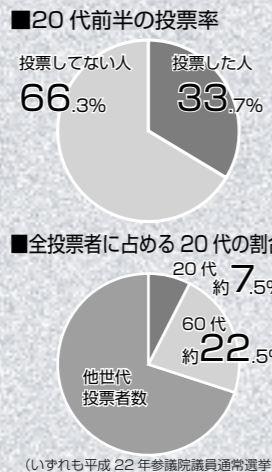
新成人が生まれた、平成4年4月～平成5年3月にはこんな出来事がありました。

- 4・12 ヨーロッパ初のデイズニー
テーマパーク、ユーロディ
ズニールランド開園
- 4・13 テレビアニメ「クレヨンし
んちゃん」放映開始
- 4・25 歌手の尾崎豊さん死去
- 5・22 日本で最初のビル爆破解体
「サザエさん」の原作者長谷
川町子さん死去
- 6・3 地球サミットがブラジルの
リオデジャネイロで開催
- 6・15 PKO協力法成立
- 7・25 バルセロナオリンピック水
泳女子200m平泳ぎで岩崎
恭子選手が日本人史上最年
少で金メダル獲得
- 8・16 夏の高校野球で松井秀喜選
手5打席連続敬遠
- 8・27 スーパーマリオカート発売
- 9・12 毛利衛さんがスペースシャ
トル・エンターで宇宙へ
- 9・12 学校週5日制がスタート
- 10・28 サッカーAFCアジアカッ
プで日本が初優勝
- 11・3 沖縄県那覇市首里に首里城
が復元
- 11・3 ビル・クリントン、米大統領
選挙に当選
- 12・12 宮澤内閣発足
- 1・27 大相撲の曙が横綱に昇進
- 2・7 M6・6の能登沖地震発生
- 3・18 新幹線「のぞみ」運行開始
- 3・31 福岡ドーム完成

ちょっと「コラム」①

●選挙があったら 行く？行かない？

20歳になると「選挙権」が与えら
れ、政治に参加できるようになりま
す。雇用、子育て、防災など私たち
の生活はすべて政治とつながっています。
しかし、平成22年の参議院議員通常選
挙で投票に行った20歳～24歳は、およ
そ3人に1人。ただでさえ少子・高齢
化で若者の数が少ないのに、これでは声
が届かない。「自分たちの暮らしを
良くしたい」と願って、私たちの代わ
りにその思いを実現してくれる人を選
ぶ。声を届ける。それが選挙です。



今度選挙があったら投票に行きま
すか？それともせうかく手にした大切
な権利を放棄しますか？若者たちだ
けでなく、私たち有権者一人一人、大
切な一票の意味を考えてみましょう。
選挙管理委員会事務局
0824-73-1126

新成人に聞く

成人式は新成人で構成する実行委員の手によって運営されています。庄原市に対する思いや将来の目標などを成人式実行委員の3人に聞きました。



成人式実行委員長
角 洗平さん
20歳 総領町 学生

庄原は自然に囲まれていて、田舎なところが好きですね。庄原から離れたくないという思いがあったので、県立大学庄原キャンパスに進学しました。

私たちが若い世代は、遊べる施設や集まれる場所が少ないなどを理由に地元を離れる者もいます。都市部から来ている県大生には「想像と違う」と言われて驚く者も多いですが、庄原の雰囲気が好きという友人が何人もいます。そういった思いを持った県大生がもっと増えるとうれしいですね。

庄原には働く場所が少ないので、どうしても市外に出るという選択になってしまふところがあります。地元で公務員を目指すことも視野に入れていますが、どちらを選ぶにせよ早く親孝行ができるよう頑張りたいと思います。

温かい幸せな家庭を築きたい

とにかく庄原が大好きです。このまちはとても落ち着きますね。ただ、もう少しにぎやかになってくれればいいなと思います。遊びに行くところがあまりなく、働き場所も少ないですよ。市の政策も、若者向けのものが少ないなと感じています。もっと若者が元気を出せるような庄原市になってほしいと思います。

20歳になるのはとても早かったです。これから成人として権利も責任もついてきますし、10代の頃とは違い自分自身気持ちも変わってくると思います。

将来の目標は、とりあえず家庭を持ち幸せになりたいですね。普通に結婚して、嫁さんも子どももいて仕事もあつて。そういった普通の生活を送ることができれば幸せですね。



これひさひでのり
是久英範さん
20歳 新庄町 会社員

自分を磨き仕事を発展させたい

自分にはここでの目標があります。今年から実家の家業に就き勉強の日々ですが、この仕事を もっと大きく発展させていきたいと思っています。そのため一度は庄原を離れ修行に出たいとも思っています。今回の成人式の実行委員も、仕事の糧になる、自分を成長させてくれる、そういう思いを持って臨みました。

これからの目標に向かって努力していきたいと思っています。



実行委員が主催した
祝賀パーティ



パーティを楽しむ参加者



かねやましゅうへい
金山脩平さん
20歳 中本町 自営業

●百薬の長？ 禍と病の種？

◇適正飲酒のススメ
「適量のお酒」は楽しい気持ちやさらに増加させ、緊張感を和らげたり、良好な対人関係を促したりする効果を持ち、ストレスを解消させます。単に酔うためではなく、楽しい雰囲気の中でゆつくりと適量を守りながらたしなみましよう。

◇飲酒の無理強いやイッキ飲みは絶対×
イッキ飲みやお酒に弱い体質の人へお酒を強要することは非常に危険な行為。急性アルコール中毒から死へもつながる可能性があります。

◇飲んだら乗るな。乗るなら飲むな
たとえ少量のお酒でも心身に影響を与え、運転能力や判断力などが低下して取り返しのつかない事故を引き起こしています。

◇お酒はエンフティカローリ

カロリーはあるけど栄養はほとんどない(＝エンフティ)という意味です。アルコールは取り過ぎたカロリーを脂肪として蓄積しやすくするので、一緒に食べるつまみの量と内容にも気を付けましょう。

お酒を「百薬の長」とするか、「禍と病の種」とするかは、あなた次第です。
保健医療課健康推進係
☎0824-73-1255

先輩からの激励

次世代を担う新成人へ、贈る言葉。

能力や才能を磨けば

可能性が広がる

そして故郷は

自分の支えになる

皆さんと同じ20歳のときに初舞台を踏み、身近な郷土芸能の太鼓が、新しい表現方法によって世界に通用するまでになりました。こういった可能性が皆さんにもあります。身近にあるものはないものじゃないと思ってしまうのですが、たとえばダイヤモンドの原石は、一見ただの石で価値あるものには見えません。しかし、上手に磨くことによつて、人を引き付けるだけの輝きを放ちます。皆さんも、磨けば輝く能力や才能を持っています。これを磨くか磨かないかで人生が大きく変わります。私も最初から太鼓がうまかった



記念講演を行った太鼓奏者

はやし えてつ
林 英哲さん
60歳 東城町出身

わけではなく、少しのきっかけからこの仕事に就き世界で活躍できるようになつたのです。

皆さんもこれから世界に出て行くことがあると思いますが、世界には強制的に異国に移住させられ帰れない人や、異国で生まれた子どもは、その国の人とは見た目が違うことで、自分が何者なのか分からず悩む人がたくさんいます。それを考えると、生まれ育つた庄原という故郷がある、いつでも帰れる場所があるというのはとてもありがたいことです。育ててくれた地域、周囲の人、家族はとても大切な存在。私もそのありがたさをつくづく感じています。その結びつきが今の自分を支えています。皆さんも、ぜひ故郷を大事にしてほしいと思います。

ポジティブに生きることで いろんな経験をして その過程を楽しんで



おおつかひろみ
大塚洋美さん
40歳 高町

20歳のときは学生でした。広島市内の大学に通っていて、成人式は同窓会気分出席したことを覚えていています。学生時には教員を目指していましたが、縁あつて地元企業に就職しました。

皆さんの中には仕事をしている方、学生でこれから就職する方がいらっしゃると思いますが、大学で人生が決まるわけではなく、就職も第一志望じゃないからだめと思う必要はないと思います。仕事はやってみないと分かりません。私は教員になるという夢には届きませんでした。今の仕事は本当に楽しいです。私がこのように考えられるようになったのも、いろんな経験をしてきたからだと思っています。

20歳になったからといって急に大人になれるものではありません。成人式は一つの区切りとして、成長へのスタートだと思つてほしいですね。そして、何事もポジティブに、多くの経験を重ねて自分が成長していく過程を楽しんでほしいと思います。

●「ちょっぴり」ラム③

●知って得する！ 美しさの敵たばこを知ろう

Q 美しさの敵とは？

A たばこは性別に関係なく、肌荒れやしみ、そばかすになりやすくなります。また、唇や歯茎の色が悪くなるなど美容の大敵。口臭が強くなり、たばこのニオイが体に染み付いてしまいます。

Q 女性は特に害が大きいつつほんと？

A 子宮頸がんのリスクが高くなり、閉経も早まります。流産・早産・死産・先天異常などの危険性も高くなり、妊娠・出産へも影響してしまいます。

Q 換気扇の下で吸えば？

A 周りへ害はないんですけど？

A 換気扇の真下や外で吸つても、煙に含まれる有害物質はあつたという間に広がつてしまいます。無害なものにするには特殊な装置が必要です。有害物質の発生は、喫煙者が吸い込む「主流煙」よりも、たばこの点火部から立ち上がる「副流煙」のほうが多く、周囲の人へ害が及んでしまいます。

喫煙は自己判断。でも、なぜ吸うの？吸う前に一度立ち止まって考えてみてください。

保健医療課健康推進係

☎0824-73-1255

